

徹・底・攻・略・!

科目別

歯科衛生士 国家試験過去問題集

臨床科目編

歯科衛生士国試問題研究会／編



医歯薬出版株式会社

1 臨床歯科総論

【問題 1】(第 1 回/1992 年)

誤っている組合せはどれか。

- a デンタルミラー ————— 視 診
- b エキスプローラー ————— 触 診
- c スプーンエキスカベーター ——— 打 診
- d テンポラリーストップング ——— 温度診

【問題 2】(第 1 回/1992 年)

正しい組合せはどれか。2つ選べ。

- a 乾熱滅菌 ————— ハンドピース
- b 高圧蒸気滅菌 ——— 抜歯鉗子
- c ガス滅菌 ————— ラバーダムシート
- d 煮沸消毒 ————— ガッターチャポイント

【問題 3】(第 1 回/1992 年)

消毒に用いられる薬剤はどれか。2つ選べ。

- a アドレナリン
- b ハロタン
- c クロルヘキシジングルコン酸塩
- d グルタルアルデヒド

【問題 4】(第 1 回/1992 年)

歯科材料の所要性質で正しいのはどれか。2つ選べ。

- a 化学的に安定なこと
- b 温度による膨縮変化の小さいこと
- c 吸水性のよいこと
- d 硬化時に発熱すること

【問題 5】(第 1 回/1992 年)

エックス線について正しいのはどれか。2つ選べ。

- a 電磁波の一種である。
- b 物質を透過する際散乱が起こらない。
- c 骨や歯はエックス線が透過しやすい組織である。
- d 甲状腺や生殖腺は障害を受けやすい。

【問題 6】(第 2 回/1993 年)

正しい組合せはどれか。2つ選べ。

- a 主 訴 ——— 患者の訴える痛みや不快事項
- b 既往歴 ——— 祖父母, 父母, 兄弟の健康状態に関する事項
- c 現病歴 ——— 過去における疾患およびそれに対する治療状況を調査する事項
- d 現 症 ——— 現在の口腔内疾患の診査所見

【問題 7】(第 2 回/1993 年)

スタディモデルで診査できるのはどれか。2つ選べ。

- a 歯列の状態
- b 歯周ポケットの深さ
- c 歯根の吸収状態
- d 顎堤や小帯の状態

【問題 8】(第 2 回/1993 年)

正しい組合せはどれか。2つ選べ。

- a 視 診 ————— 根尖病巣
- b 触 診 ————— 冷水痛
- c 打 診 ————— 咬合痛
- d エックス線検査 ——— 歯槽骨の状態

【問題 9】(第 2 回/1993 年)

正しい組合せはどれか。

- a 無機材料 ——— 接着性レジンセメント
- b 有機材料 ——— リン酸亜鉛セメント
- c 陶 材 ——— ジャケット冠
- d 金属材料 ——— ベニア修復

【問題 10】(第 2 回/1993 年)

正しい組合せはどれか。2つ選べ。

- a エナメル質形成不全 ——— 審美性の回復
- b くさび状欠損 ————— 象牙質知覚過敏
- c 急性単純性歯髄炎 ——— 抜 髄
- d 歯髄壊疽 ————— 根尖切除

③ 歯内療法

〔歯・歯髄・歯周組織の疾患と治療〕

【問題 1】（第 1 回/1992 年）

根管充填材の所要性質で誤っているのはどれか。

- a 根尖歯周組織に無刺激性である。
- b エックス線に透過性である。
- c 根管壁に密着し、根管封鎖性が高い。
- d 持続的な殺菌・消毒作用がある。

【問題 2】（第 1 回/1992 年）

急性化膿性歯髄炎の症状について誤っているのはどれか。

- a 痛みは鋭く、夜中に痛むことが多い。
- b 温度刺激に敏感に反応する。
- c 顔面の腫脹を伴う。
- d 歯髄に近接した大きな歯質崩壊が認められる。

【問題 3】（第 2 回/1993 年）

歯の強い痛みを示すのはどれか。

- a 歯髄充血
- b 急性化膿性歯髄炎
- c 慢性増殖性歯髄炎
- d 歯髄壊死

【問題 4】（第 2 回/1993 年）

覆髄薬の所要性質で正しいのはどれか。2つ選べ。

- a 無刺激性で歯髄を障害しないもの。
- b 軟らかくてすぐ吸収されるもの。
- c 温度変化で膨張や収縮するもの。
- d 鎮静効果が持続するもの。

【問題 5】（第 2 回/1993 年）

根管充填材の所要性質で誤っているのはどれか。

- a 水分を透過させる。
- b エックス線造影性がある。
- c 持続的殺菌力がある。
- d 組織親和性がある。

【問題 6】（第 2 回/1993 年）

歯内治療で用いる水酸化カルシウム系薬剤について正しいのはどれか。

- a リン酸溶液と混和して用いる。
- b 直接覆髄や根管充填に用いる。
- c 漏えいすると歯肉を傷害する。
- d 硬化時間が短いので硬化遅延剤を用いる。

【問題 7】（第 2 回/1993 年）

歯内治療で無菌的処置が必要な理由はどれか。2つ選べ。

- a 歯髄出血を避けるため。
- b 一過性菌血症を避けるため。
- c 他の患者からの感染を避けるため。
- d 根管内の感染を避けるため。

【問題 8】（第 3 回/1994 年）

抜髄の適応でないのはどれか。

- a 歯髄充血
- b 慢性増殖性歯髄炎
- c 急性化膿性歯髄炎
- d 急性壊疽性歯髄炎

【問題 9】（第 3 回/1994 年）

誤っている組合せはどれか。

- a ピンソーリーマー —— 根管口拡大
- b リーマー —— 根管拡大
- c レンツロ —— 根管形成
- d スプレッター —— 根管充填用ポイント圧接

5 歯科補綴

〔歯の欠損と治療〕

【問題 1】 (第 1 回/1992 年)

歯の喪失に伴う変化で誤っているのはどれか。

- a 顎堤の肥大
- b 隣接歯の傾斜, 転位
- c 対合歯の挺出
- d 歯の接触点の喪失

【問題 2】 (第 1 回/1992 年)

床義歯の特徴で誤っているのはどれか。

- a 固定性で異物感が少ない。
- b 粘膜支持を発揮する。
- c 歯槽部の欠損が補綴できる。
- d 修理が容易である。

【問題 3】 (第 1 回/1992 年)

クラスプの役割で誤っているのはどれか。

- a 義歯の脱離を防ぐ。
- b 義歯の破折を防ぐ。
- c 義歯の横揺れを防ぐ。
- d 義歯の沈下を防ぐ。

【問題 4】 (第 1 回/1992 年)

部分 (局部) 床義歯の大連結子 (バー) で誤っているのはどれか。

- a 義歯床の面積を小さくする。
- b 義歯を強くする。
- c 使用材料は金属である。
- d リンガルバーは上顎に応用する。

【問題 5】 (第 1 回/1992 年)

全部鑄造冠について正しいのはどれか。2 つ選べ。

- a 失活歯だけに使用される。
- b 美観が優れている。
- c 大白歯に用いられる。
- d 鑄造によって製作される。

【問題 6】 (第 1 回/1992 年)

ポンティックの基底面形態で清掃性の悪いのはどれか。

- a 鞍状型
- b 船底型
- c リッジラップ型
- d 偏側型

【問題 7】 (第 2 回/1993 年)

下顎運動に関連しないのはどれか。

- a 咬筋
- b 外側靭帯
- c 歯肉
- d 顎関節

【問題 8】 (第 2 回/1993 年)

全部床義歯の特徴で誤っているのはどれか。

- a 維持は床と粘膜との接着力による。
- b 支持は粘膜負担形式である。
- c 咀嚼能率が高い。
- d 患者は高齢者が多い。

【問題 9】 (第 2 回/1993 年)

パラタルバーについて正しいのはどれか。2 つ選べ。

- a アクリリックレジンで製作される。
- b 下顎に応用される。
- c 連結装置である。
- d 強度が要求される。

【問題 10】 (第 2 回/1993 年)

全部鑄造冠と比較して部分被覆冠の特長はどれか。2 つ選べ。

- a 美観が優れている。
- b 維持力が強い。
- c 二次う蝕の発生率が低い。
- d 前歯に応用できる。

6 口腔外科・歯科麻酔

〔顎・口腔領域の疾患と治療〕

【問題 1】（第 1 回/1992 年）

誤っている組合せはどれか。

- a 智歯周囲炎 —— 開口障害
- b 唇顎口蓋裂 —— 言語障害
- c 顎関節脱臼 —— 炎症
- d 白血病 —— 歯肉出血

【問題 2】（第 1 回/1992 年）

前がん病変といわれるのはどれか。

- a ベーチェット病
- b 舌痛症
- c 線維腫
- d 白板症

【問題 3】（第 1 回/1992 年）

顎骨内にみられる疾患はどれか。2 つ選べ。

- a 歯根嚢胞
- b 口腔カンジダ症
- c 乳頭腫
- d 歯牙腫

【問題 4】（第 1 回/1992 年）

顎骨骨折について正しいのはどれか。2 つ選べ。

- a 受傷原因は交通事故が最も多い。
- b 上顎骨骨折より下顎骨骨折の方が多い。
- c 男性より女性に多い。
- d 顎間固定期間は成人で 2～3 週である。

【問題 5】（第 1 回/1992 年）

腫瘍に属する疾患はどれか。2 つ選べ。

- a エナメル上皮腫
- b 増殖性歯肉炎
- c 褥瘡性潰瘍
- d 舌癌

【問題 6】（第 1 回/1992 年）

下顎埋伏智歯抜歯のときに伝達麻酔を行う部位はどれか。

- a 大口蓋孔
- b オトガイ孔
- c 切歯孔
- d 下顎孔

【問題 7】（第 1 回/1992 年）

最も埋伏しやすい永久歯はどれか。

- a 上顎中切歯
- b 上顎智歯
- c 下顎小臼歯
- d 下顎智歯

【問題 8】（第 2 回/1993 年）

正しい組合せはどれか。2 つ選べ。

- a 壊疽性口内炎 —— 前がん病変
- b 顎骨骨折 —— 整復・固定
- c 顎関節症 —— 咬合異常
- d 上顎洞炎 —— 言語障害

【問題 9】（第 2 回/1993 年）

歯肉出血のみられる疾患はどれか。

- a 歯槽膿瘍
- b 白板症
- c ベーチェット病
- d 白血病

【問題 10】（第 2 回/1993 年）

軟組織にみられる疾患はどれか。2 つ選べ。

- a ドライソケット
- b エプーリス
- c 乳頭腫
- d 歯根嚢胞

1 臨床歯科総論

【問題 1】 c

★

歯科領域における臨床診査には、多くの方法がある。

- a ○ 直接的あるいはデンタルミラーで間接的に診査する。
- b ○ 手や器具（ピンセット、エキスプローラーなど）で触れてみる。
- c × 打診はピンセットやデンタルミラーの柄で患歯を叩く。
- d ○ 冷水・温水、温めたストップングを利用して歯を診査する。

【問題 2】 b, c

★★

- a × 乾熱滅菌は、160～180℃で30～60分間処理するもので、試験管などの消毒に用いる。ハンドピースなどの金属製品には変性するため用いられない。
- b ○ 高圧蒸気滅菌（オートクレーブ）では、金属製品のほとんどと綿花、ガーゼの滅菌などに用いられる。
- c ○ ガス滅菌は高温に耐えられないプラスチック、ゴム製品、ハンドピースの滅菌に用いられる。
- d × ガッターチャポイントは、煮沸消毒（100℃、10～30分）すると軟化やタンパク変性を起こし、使用できなくなる。

【問題 3】 c, d

★★

- a × アドレナリンは、血管収縮作用があり、8万～10万倍に希釈してリドカイン（キシロカイン）歯科用局所麻酔剤に添加されている。
- b × ハロタンは揮発性吸入麻酔薬で、全身麻酔の維持に用いられる。
- c ○ クロルヘキシジングルコン酸塩（ヒビテン[®]）は口腔粘膜および皮膚の消毒に用いられる。
- d ○ グルタルアルデヒド（ステリハイド[®]）は肝炎ウイルスなどに効果があり、器械・器具の消毒に用いられる。

【問題 4】 a, b

★★

歯科材料の所要性質としては、選択肢のほか、操作が容易であること、吸水性の少ないこと、作業時間が適当であること、環境を汚染しないこと、容易に入手可能であることなど多くの要件がある。

- a ○ 化学的に安定であり、口腔内で腐食しないことである。
- b ○ 温度による膨張・収縮が小さく、歯と同じ膨張・収縮率であることが望ましい。
- c ×
- d ×

【問題 5】 a, d

★★

- a ○ エックス線は可視光線や電波と同じく電磁波の一種である。
- b × 物質に当たると吸収または散乱されて減弱し、残りは透過する。
- c × 原子番号が大きく、密度が高く、厚さが厚い物質ほどエックス線を吸収する。骨や歯、歯の金属補綴装置や根管充填材は原子番号が大きいのでエックス線は透過しにくい。
- d ○ 生体にエックス線が吸収されると、何らかの生物学的影響（生物学的作用）が生じる。骨髄、生殖腺、甲状腺などは放射線に対する感受性が高いので防護上の配慮が必要となる。

【問題 6】 a, d

★

医療面接（問診）には、主訴、家族歴、既往歴、現病歴、現症がある。

- a ○ 主訴は患者の来院の動機となったもので、現在最も苦痛とすることや不快事項を簡単に表現したものである。
- b × 既往歴は過去における全身疾患や局所合併症について、経過や治療方法について問診することである。家族歴は患者の家系について行う問診で、遺伝性疾患などを知る手がかりとなる。